



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 リゾートソリューション株式会社
 コード番号 5261 URL <http://www.resol.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多賀 道正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 星野 幸男 TEL 03-3344-8861
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,622	10.6	214	—	184	37.4	162	△26.6
24年3月期第3四半期	13,222	△12.4	△170	—	134	△62.9	221	39.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 169百万円 (△31.8%) 24年3月期第3四半期 248百万円 (56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	2.93	—
24年3月期第3四半期	3.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	29,575	8,952	30.0	159.54
24年3月期	30,752	8,952	28.8	159.64

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,863百万円 24年3月期 8,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	5.6	600	403.8	800	58.5	500	1.5	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	55,642,000株	24年3月期	55,642,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	84,101株	24年3月期	83,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	55,558,299株	24年3月期3Q	55,560,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	1
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	1
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	1
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	1
(4) 追加情報	1
3. 四半期連結財務諸表	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要の下支えがあったものの、欧州を中心とした金融不安や中国経済の変調等、海外経済の減速で先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業であるゴルフ場・ホテル等のリゾート業界におきましても、厳しい雇用・所得環境のなか、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループでは、全国で運営するゴルフ場、ホテル、旅館等の運営マネジメント新会社5社を設立するなどの運営強化を図るとともに、一方では「お客様第一主義」に徹し、顧客満足度の向上を図るための顧客サービスの改善にも注力してまいりました。

ゴルフ運営事業におきましては、クラブハウス内のセルフ化で合理化を図り、そのコストダウン分をお客様に価格・サービスの両面で還元して満足度向上を目指した運営スタイルである「バリューセルフ」方式を拡充するとともに、三世代で楽しめるスポーツとしてのゴルフという点に着目して「三世代ゴルフ」の提案と推進にグループ全体で取り組んでおります。

ホテル運営事業におきましては、「くつろぎ」をコンセプトにしたホテルとして、会員向けサービスの内容をリニューアルし、一層の充実を図るとともに、昨年10月にオープンした「ホテルリソル博多」は福岡市中洲地区の中心という立地に加え、充実した設備を完備し、ビジネス、観光両方のお客様から人気を博しており、引き続き好調な稼働率を維持しております。

開発事業におきましては、ゴルフ場、ホテル及び旅館の再生を図るとともに、ゴルフ場の保有資産を活用した新たな商品の開発・販売に注力いたしました。

福利厚生事業におきましては、「ライフサポート倶楽部」の会員をはじめとする各種会員を対象に“あなたのオフを、もっとスマイルに。”のスローガンのもと「お客様第一主義」に徹した会員ならではのお得な宿泊プランや生活メニュー、販通信売など様々な会員サービスを提供する『メンバーズ・コミュニケーション事業』を積極的に展開いたしました。

リゾート事業では、ゴルフ・リゾート会員権の仲介事業は流通相場の低迷が続く、弱含みで推移する中、団塊世代を中心としたアクティブシニア層に向けて多様なニーズに対応する商品として「ゴルフヴィラ」を販売いたしました。

当第3四半期連結累計期間は、運営事業における昨年より運営を開始したゴルフ場やホテルの収益の取込み、ビジネス需要や個人消費の緩やかな回復により、売上高は14,622百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益は184百万円（同37.4%増）、四半期利益162百万円（同26.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,177百万円減少し、29,575百万円となりました。これは主に売掛金の減少等によるものであります。負債につきましては、20,622百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,177百万円減少しております。これは主に、買掛金及び預り保証金の減少等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、予定どおり推移しており、平成24年5月11日に公表しました連結業績予想から修正は行なっておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（連結納税制度の適用）

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,266,582	2,476,950
売掛金（純額）	1,414,282	753,357
商品	137,601	80,366
販売用不動産	1,125,367	1,122,860
貯蔵品	132,427	213,413
未収入金（純額）	428,721	281,634
その他（純額）	878,000	838,670
流動資産合計	6,382,985	5,767,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,296,463	5,299,827
土地	5,058,981	5,070,994
その他（純額）	1,019,758	936,255
有形固定資産合計	11,375,202	11,307,077
無形固定資産		
のれん	2,035,352	1,937,379
その他	364,798	413,878
無形固定資産合計	2,400,150	2,351,258
投資その他の資産		
投資再生不動産	7,931,120	8,173,461
その他（純額）	2,662,779	1,976,151
投資その他の資産合計	10,593,900	10,149,613
固定資産合計	24,369,253	23,807,949
資産合計	30,752,239	29,575,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	740,676	353,682
短期借入金	2,981,500	2,540,000
1年内返済予定の長期借入金	865,750	1,337,796
未払法人税等	149,564	59,964
賞与引当金	83,978	48,421
その他	2,948,769	2,788,075
流動負債合計	7,770,238	7,127,940
固定負債		
長期借入金	4,577,150	4,899,704
長期預り金	442,930	328,352
預り保証金	6,083,154	5,622,312
退職給付引当金	461,289	476,612
従業員特別補償引当金	100,000	7,000
資産除去債務	191,890	165,224
その他	2,173,384	1,995,248
固定負債合計	14,029,800	13,494,453
負債合計	21,800,038	20,622,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,523,487	2,356,811
利益剰余金	2,143,257	2,304,124
自己株式	△18,165	△18,282
株主資本合計	8,596,667	8,590,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40	△37
土地再評価差額金	272,948	272,948
その他の包括利益累計額合計	272,908	272,910
少数株主持分	82,624	89,156
純資産合計	8,952,200	8,952,809
負債純資産合計	30,752,239	29,575,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,222,489	14,622,115
売上原価	6,474,843	5,600,776
売上総利益	6,747,645	9,021,339
販売費及び一般管理費	6,917,946	8,806,779
営業利益又は営業損失(△)	△170,301	214,559
営業外収益		
受取利息	12,945	6,857
投資事業組合等利益	3,227	—
債務消却益	142,253	22,456
投資再生不動産売却益	204,471	46,691
その他	96,442	40,685
営業外収益合計	459,340	116,692
営業外費用		
支払利息	108,756	140,090
投資再生関係会社株式売却損	43,345	—
その他	2,896	6,990
営業外費用合計	154,998	147,081
経常利益	134,041	184,170
特別利益		
債務消却益	400,800	—
営業補償金	—	87,996
その他	12,279	—
特別利益合計	413,079	87,996
特別損失		
事業所整理損	2,699	3,300
従業員特別補償金	8,026	—
従業員特別補償引当金繰入額	11,750	56,700
関係会社株式売却損	42,934	—
その他	11,180	3,816
特別損失合計	76,590	63,818
税金等調整前四半期純利益	470,530	208,348
法人税、住民税及び事業税	137,271	87,817
法人税等調整額	106,057	△48,861
法人税等合計	243,328	38,956
少数株主損益調整前四半期純利益	227,201	169,391
少数株主利益	5,470	6,531
四半期純利益	221,730	162,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	227,201	169,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	2
土地再評価差額金	21,324	—
その他の包括利益合計	21,308	2
四半期包括利益	248,509	169,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,038	162,862
少数株主に係る四半期包括利益	5,470	6,531

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注①) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②) (千円)
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,813,829	5,286,486	2,400	1,398,996	720,776	13,222,489	—	13,222,489
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,813,829	5,286,486	2,400	1,398,996	720,776	13,222,489	—	13,222,489
セグメント利益 又は損失(△)	662,036	△17,734	2,400	△321,655	△34,694	290,351	△460,652	△170,301

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△460,652千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ゴルフ運営事業」において、第2四半期連結会計期間より西東京ゴルフ倶楽部株式会社(旧Take1カントリークラブ)の株式を取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間においては165,611千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ運営事業」において、南栃木ゴルフ倶楽部株式会社(旧永野ゴルフ倶楽部)の株式を取得し、同社を連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,279千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注①) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②) (千円)
	ゴルフ 運営事業 (千円)	ホテル 運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生 事業 (千円)	リゾート 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	7,099,747	5,814,937	—	1,029,062	678,368	14,622,115	—	14,622,115
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,099,747	5,814,937	—	1,029,062	678,368	14,622,115	—	14,622,115
セグメント利益 又は損失(△)	925,625	34,870	—	△163,811	9,968	806,653	△592,093	214,559

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△592,093千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。